

# いしのまき

No.  
71

## 議会だより

令和4年2月25日発行

第4回定例会 .....	2
各常任委員会審査報告 .....	4
23人が一般質問で市政を問う .....	6
第2回臨時会 .....	16



令和3年11月17日開催 市立桜坂高等学校「市役所プロジェクト」模擬議会

## 第4回定例会

### 条例や補正予算など33件を可決

令和3年第4回定例会を、12月2日から17日までの16日間の日程で開催し、市長提出議案31件、委員会提出議案1件および議案1件を審議した結果、すべて原案のとおり可決しました。

### 第4回定例会に提出された

#### 議案と審議結果

#### 予 算 (原案可決)

- ・令和3年度石巻市一般会計補正予算(第8号)
- ・令和3年度石巻市一般会計補正予算(第9号)
- ・令和3年度石巻市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
- ・令和3年度石巻市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)
- ・令和3年度石巻市下水道事業会計補正予算(第3号)

#### 条 例 (原案可決)

- ・石巻市健康づくりパーク条例
- ・石巻市復興まちづくり情報交流館条例を廃止する条例



大森 秀一 議長

・石巻市組織条例の一部を改正する条例

・石巻市個人情報保護条例及び石巻市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例

・石巻市市税特別措置条例の一部を改正する条例

・石巻市国民健康保険条例の一部を改正する条例

・石巻市国民健康保険条例の一部を改正する条例

・石巻市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例



雄勝地区健康づくりパーク

#### そ の 他 (原案可決)

・石巻市過疎地域持続的発展計画の策定について  
指定管理者の指定について

(石巻市震災遺構)

(石巻市立釜保育所)

(石巻市鮎川漁港漁船上架施設)

(石巻市サン・ファン・パウティスタパーク)

(石巻市かわまち交流拠点施設)

(石巻市営水押し住宅等)

(石巻市河南室内プール)



遠藤 宏昭 副議長

・財産の処分について 2件

・工事請負の契約締結について

(下釜南部地区土地区画整理事業宅地造成道路築造

(その4)工事)

(釜大街道線道路新設(その3)工事)

・工事請負契約の一部変更について

(陸間水門遠隔監視システム電源設備工事)

(釜大街道線道路新設(その2)工事)

(23年災長面漁港海岸保全施設災害復旧(その6)工事)

・市道路線の認定について

・市道路線の廃止について

・市道路線の変更について

#### 委員会提出議案 (原案可決)

・市長の専決処分事項の指定についての一部改正

#### 議 会 案 (原案可決)

・6番黒須光男議員に対する議員辞職勧告決議の提出について

## 第4回定例会で可決した議案の中から主な内容を紹介します。

### 可決した条例から

#### ◆石巻市健康づくりパーク条例

東日本大震災により災害危険区域の指定を受けた被災低平地を活用し、高齢者等の運動や生きがいをづくりによる健康増進と地域コミュニティの醸成を図ることを目的とした「健康づくりパーク」について、雄勝地区、北上地区、牡鹿地区において令和4年4月から供用を開始することとなったため、本条例を制定するものです。

### 可決した補正予算から

一般会計補正予算(第8号)は、持続可能な財政基盤の確立に向け、将来の財政負担を軽減するための災害公営住宅建設事業債の繰上償還に要する経費のほか、放課後児童クラブの開設、東日本大震災被災者住宅再建補助金の増額および新型コロナウイルスワクチンの3回目接種に向けた体制整備に要する経費などの所要額を措置したものです。

一般会計補正予算(第9号)は、国の「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」に基づき、住民税非課税世帯等に対して1世帯当たり10万円を給付する「住民税非課税世帯等臨時特別給付金」の給付に要する経費のほか、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う米価下落を受け、稲作農家の営農継続に向けた次期作支援のための補助金交付に要する経費、原油価格高騰対策として、生活困窮世帯への灯油購入費等給付金や園芸農家及び漁業者への燃料購入費支援に要する経費などを措置したものです。

#### ◆総務費では

- ・訴訟代理業務委任契約に係る裁判関係費用
- ・令和4年5月執行予定の石巻市議会議員選挙執行に要する経費

#### ◆民生費では

- ・国の「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」に基づく、住民税非課税世帯等に対して、1世帯当たり10万円を給付する「住民税非課税世帯等臨時特別給付金」

#### ◆衛生費では

- ・新型コロナウイルスワクチンの3回目接種に向けた接種体制整備に要する経費

#### ◆農林水産業費では

- ・新型コロナウイルス感染症の影響に伴う米価下落を受け、稲作農家の営農継続に向けた次期作支援のための補助金交付に要する経費
- ・原油価格高騰に伴う燃料費高騰の影響を受けた園芸農家に対する燃料購入費用を支援するための補助金交付に要する経費
- ・原油価格高騰に伴う船舶燃料高騰の影響を受けた漁業者に対する船舶燃料の購入費用の一部を支援するための補助金交付に要する経費

#### ◆商工費では

- ・中小企業者等事業継続支援金

#### ◆土木費では

- ・コミュニティ広場（パークゴルフ場）の施設整備に要する経費

#### ◆消防費では

- ・消火栓設置工事の事業進捗に伴う石巻地方広域水道企業団への工事負担金

#### ◆教育費では

- ・複合文化施設開館1周年記念事業の実施に要する経費

#### ◆災害復旧費では

- ・令和3年3月20日発生の宮城県沖を震源とする地震等に伴う桃生農業者トレーニングセンター等施設の災害復旧に要する経費
- ・令和3年2月13日発生の福島県沖を震源とする地震に伴う桃生地域福祉センター施設の災害復旧に要する経費

#### ◆公債費では

- ・災害公営住宅建設事業債の繰上償還金
- ・災害公営住宅建設事業債を繰上償還する際に発生する補償金

## 各常任委員会審査報告

12月3日の本会議で、条例や補正予算などの議案が審議され、各常任委員会に付託されました。審査されたことの中からいくつかの質疑と答弁の要旨を紹介します。

## 総務企画委員会



奥山 浩幸 委員長

石巻市復興まちづくり情報交流館条例を廃止する条例について

**Q** 市民同士の意見交換や来訪者の交流の場として設けられた中央館閉館後の在り方について伺う。

**A** 中央館のコンセプトを継続して閉館後も活用してもらえるか、まちづくり団体等に相談している。

石巻市組織条例の一部を改正する条例について

**Q** 組織の改編に伴い、グループ制から係制に移行する利点について伺う。

**A** グループ制では所属長がグループリーダーを指名していたが、係制では係長を人事発令することとなるため、責任の重要性の認識が高まり、事務処理のチェック機能及び人材育成機能の向上が図られる。

令和3年度石巻市一般会計補正予算(第8号)について

**Q** 本市議会議員が原告となり、本市が被告となった裁判における、最高裁判所判決等の市民への周知について伺う。

**A** 市当局としても判決結果について記者会見を開き、市民に対し説明することも検討していきたい。

**Q** これまで、本市が同一人物から訴訟を起こされた事件について伺う。

**A** 合併した平成17年度以降では、本市議会議員からの訴訟のみであり、全5件のうち2件の判決が確定しており、いずれも原告の請求は棄却されている。

**Q** 市役所における不当要求や威圧的な態度に対する考え方について伺う。

**A** 庁内ではコンプライアンスを推進しており、不穏当なヒラの配布を注意したり、好ましくない文書のコピーを断ったりしてきている。今後も職員のメンタルに配慮しながら、全庁一丸となって、毅然とした態度で不当要求に対応していきたい。

**Q** 災害公営住宅建設事業債の繰上償還に伴う、将来経費の想定について伺う。

**A** 事業債を30年間定時償還する場合と比べ、繰上償還した場合は、総支払金額が約5億3000万円削減され、将来の財政負担が軽減されることとなる。

**Q** 震災遺構門脇小学校と震災遺構大川小学校の管理運営における効率性について伺う。

**A** 2つの遺構には、地理的な距離はあるものの、一括して管理運営することで、人員配分などをスムーズに行うことができ、効率的な経費の節減につながるものと考えている。

## 環境教育委員会



阿部 久一 委員長

令和3年度石巻市一般会計補正予算(第8号)について

**Q** ごみ処理費の減額理由について伺う。

**A** 前年度の施設処理量から、負担金の区分ごとに、組織市町別に算定した負担率で算出しているが、前年度の決算が確定したことから、し尿処理施設負担金については、負担率は増加したものの、全体の経費は減少となり、また、ごみ焼却施設負担金については、負担率及び全体の経費はいずれも減少となったため、それぞれの負担金は減額となった。

**Q** 幼稚園保健費の内容について伺う。

**A** 新型コロナウイルス感染防止対策のため、アルコール消毒液やマスク等の消耗品を購入する内容である。

**Q** 埋蔵文化財発掘調査事業費の概要及び今後のスケジュールについて伺う。

**A** 発掘調査の概要については、須江瓦山地区におけるバイオマス発電所建設に伴い、対象地が埋蔵文化財包蔵地である須江瓦山A窯跡の範囲内であることから、事業実施者の委託を受け、埋蔵文化財の記録保存を目的とした確認調査を行うものであるが、事業者側の準備が整わず、今年度実施できないことから減額するものである。

相手方による各種手続きが順調に行われるという前提において、現在想定される最も早いスケジュールとしては、3月末までに相手方と協議を進め、5月の初めまでに確認調査の業務委託契約を締結し、5月中旬から6カ月程度の確認調査を実施する。その結果を踏まえ、全面的な発掘調査を行うか判断していく。

**Q** 埋蔵文化財の調査に伴い、バイオマス発電所の建設計画への影響について伺う。

**A** 現在、県の環境影響評価手続きが行われており、準備書に対する知事意見が述べられている。今後、評価書の作成があると思われるが、その時期及び進捗状況は、まだ把握していない。



## 保健福祉委員会



佐藤 雄一 委員長

石巻市健康づくりパーク条例について

**Q** 渡波地区健康づくりパークの今後のスケジュールについて伺う。

**A** 土地の所有者である林野庁と土地取得に向けた申請手続きを進め、その後、工事の発注となる予定である。

現在は、担当部局との事前交渉を進めており、令和4年度予算において、土地取得の予算を計上し、正式な土地取得申請手続を令和4年度に実施する予定である。

令和3年度石巻市一般会計補正予算(第8号)について

**Q** 被災者住宅再建補助事業の現状について伺う。

**A** 新型コロナウイルス、ウッドショック及び原油高により、資材調達が困難な状況であることから、申請期限である2月15日までの補助金申請が難しいという意見があるため、国に対して、申請期限の1年延長を求める要望活動を行っている。

**Q** 被災者住宅再建補助事業の現状に伴う市民への対応について伺う。

**A** 個々の再建状況に応じて、丁寧な相談を受けながら、不安を解消していきたい。

**Q** ワクチン接種体制確保等業務委託料の概要について伺う。

**A** 3回目のワクチン接種開始に伴い、コールセンター及び集団接種会場の設置及び運営管理などに要する経費である。

**Q** 3回目のワクチン接種の対象者について伺う。

**A** 原則として2回目の接種から8カ月を経過した人に、順次接種券を発送する。

**Q** 1・2回目と同じメーカーのワクチンを3回目に接種できるのか伺う。

**A** 国の方針としては、ファイザー社製のワクチンとモデルナ社製のワクチンの併用が原則となっていることから、希望どおりのワクチンを接種できない可能性がある。

**Q** 3回目も同じワクチンを打ちたい方が、予約を先送りしてしまう、予約状況が混乱することへの懸念について伺う。

**A** ワクチン接種が進まない状況にならないよう、他のワクチンの有効性等を周知して、より接種が進むよう、体制を整備していきたい。



## 産業建設委員会



阿部 浩章 委員長

令和3年度石巻市一般会計補正予算(第8号)について

**Q** 農作物有害鳥獣駆除業務委託料の内容について伺う。

**A** 当初は県の計画に基づき1752頭のニホンジカを駆除する予定だったが、今回の補正予算では11891頭を駆除する予定である。

**Q** ニホンジカ処理の将来展望について伺う。

**A** 最近ではニホンジカは市外からの流入も想定されることから、県と連携した広域的な取り組みが必要と考えている。

**Q** 新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金の減額内容について伺う。

**A** 県からの休業要請等に基づいて、県から提供された飲食業の営業許可を得ている1253店舗分の15億5372万円を予算措置したが、実績としては578事業者、629店舗に8億5544万円を支給したため、差額の6億9828万円を減額した。

**Q** オリーブの成長に伴う移植の時期について伺う。

**A** 釜谷地区は令和4年2月から、二丁谷地区は令和5年2月から

ら移植を予定している。

**Q** オリーブが民間に譲渡されたあとの支援について伺う。

**A** 今年度の管理経費は1262万8千円となっているが、10月に民間譲渡したため、9月までに支出した委託料の執行残を、オリーブ栽培事業経営安定化補助金として振り替えるものである。なお、栽培樹木は無償で貸し付けており、オリーブを移植して2、3年は通常の量が収穫できないことから、経営が安定するまで、市でも継続して支援していきたい。

**Q** 急傾斜地の認定基準について伺う。

**A** 国の補助事業では傾斜地の高さが10メートル以上、人家が概ね10戸以上であり、県単独事業では傾斜地の高さが5メートル以上、人家が概ね5戸以上である。

**Q** 当該事業の未着手地について伺う。

**A** 半島部に未着手地が4か所あるが、指定されたのは昭和58年頃で、現在は人家もなく、県に指定の取り消しについて問い合わせをしている。

**Q** かわまち交流拠点施設の指定管理料とその内容について伺う。

**A** 指定管理料は令和元年度が34万45万円、令和2年度が3334万2千円であり、かわまち交流拠点施設、かわまち交流センター駐車場、バス広場および交通広場の4つの施設を管理するための人件費や、エレベーター等の保守経費などが主な内容である。

# 一般質問

議員23人が登壇

## 市政を問う!

第4回定例会の一般質問は、23人の議員が市政全般にわたり市当局の見解をただしたり、政策提言を行いました。

その中から、いくつかの質問と答弁の要旨を紹介します。

なお、このコーナーは質問を行った議員自らが市当局の答弁に基づき、記事の編集を行っています。

議論の様子は、録画映像でもご覧になれます。

本紙面から、各議員の顔写真の下にあるQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、質問を動画で見ることができます。(視聴にかかるデータ通信料金などの費用は、ご本人の負担となります。)

### 一般質問通告一覧

※議員名の前に付いている番号は、質問順序です。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため本定例会も答弁を含め、1人50分の質問時間となっています。

①阿部 浩章 (ニュー石巻) 1 『将来にわたり生きる喜びを持続するまちづくり』について	⑬山口 荘一郎 (創生会) 1 DXについて
②齋藤 澄子 (日本共産党石巻市議団) 1 子ども達の健康を守る立場について 2 SDGs17の目標から「ジェンダー平等を実現しよう」また「気候変動に具体的な対策を」について 3 湊地区の諸課題について	⑭千葉 眞良 (創生会) 1 (仮称)稲井こども園について 2 12月1日に発生した大門町三丁目の交通事故について 3 人事課題について
③森山 行輝 (ニュー石巻) 1 エネルギーに関する当市の対処方について	⑮後藤 兼位 (創生会) 1 復旧・復興加速の課題と行財政運営について
④水澤 富士江 (日本共産党石巻市議団) 1 環境保全と再生可能エネルギーについて 2 全世代に利用され、文化を創り出す図書館の実現を 3 プラスチックごみの分別収集について	⑯渡辺 拓朗 (公明会) 1 デジタル化社会について
⑤千葉 正幸 (ニュー石巻) 1 米価下落について 2 带状疱疹予防ワクチン接種に対する助成措置について 3 市長の政治スタンスについて	⑰黒須 光男 (無会派) 1 復興事業における問題点について
⑥佐藤 雄一 (ニュー石巻) 1 学校給食について 2 自治体DXの推進について 3 「旭山桜のみち」について	⑱青山 久栄 (創生会) 1 児童生徒の健全育成について 2 温暖化のなかの沿岸漁業振興について
⑦楯石 光弘 (ニュー石巻) 1 人生100年時代の体力の向上と健康づくり対策について 2 複合施設「遊楽館」周辺の有効活用について 3 魅力的で持続可能な「復興マラソン」について	⑲星 雅俊 (創生会) 1 山下地区のまちづくり課題の進捗状況について 2 人口減少・少子高齢化の市行財政運営に対する悪循環と対策について 3 人口減少・少子高齢化の「まちづくり」の対策について 4 県政150周年記念事業について
⑧丹野 清 (ニュー石巻) 1 生活困窮者自立支援制度について 2 防災対策について 3 渡波地区の諸課題について	⑳櫻田 誠子 (公明会) 1 公共交通について 2 網膜色素変性症等の方への支援について
⑨鈴木 良広 (公明会) 1 交流人口増加の取り組みについて 2 捕鯨文化と鯨食文化の継承について 3 特殊詐欺被害防止対策について	㉑阿部 正敏 (創生会) 1 第2次石巻市総合計画中間案【概要】全戸配布に対する意見について 2 第1章【住民同士の絆・支え合いで安心安全に暮らせるまち】について 3 第2章【都市と自然が調和し快適とやすらぎがうまれるまち】について 4 第4章【多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち】について 5 総合支所における地域住民ニーズの把握について
⑩高橋 憲悦 (ニュー石巻) 1 移住・定住施策の推進について 2 学校給食に故郷の味、地元食材を取り入れては 3 震災遺構のあり方について 4 市民の視点(心)を大切に行政運営と本気度が伝わる行財政改革について	㉒西條 正昭 (創生会) 1 過疎対策について 2 石巻市立小中学校の学力向上対策について 3 北上地区の諸課題について
⑪奥山 浩幸 (ニュー石巻) 1 市政運営について 2 石巻市立病院について	㉓青木 まりえ (創生会) 1 毛利コレクションについて 2 香害について 3 サン・ファン・パウティスタ号について
⑫阿部 久一 (ニュー石巻) 1 雄勝地区のまちづくりについて 2 水産業の現状と課題について	



阿部 浩章 議員

ニュー石巻



『将来にわたり生きる喜びを持続するまちづくり』について

協働によるまちづくりを推進・発展させる補助制度への積極的導入の考え方について伺う。

平成17年度より「地域づくり基金事業助成金」を交付しており、社会情勢の変化を見極めながら、必要に応じて拡充を含めた見直しについて検討していく。

地域に対する行政職員の参画への考えと現状・課題について伺う。

「自治会」については、市職員の積極的な参加が期待されていることから、庁内会議の場で、市長から市職員の自治会活動への参加の協力をお願いした。

漁業の後継者対策としての「ぶり基金」の進捗状況について伺う。

議員の御提案の漁業者の水揚げ部分から協力を寄附していただいた原資を元に、漁業の後継者育成のための奨学金制度を作るといった取組については、新型コロナウイルス禍における昨今の社会情勢を考慮し、事業の検討までには至っており、現状としては、漁業の担い手支援策である「水産業担い手事業」を継続して実施している。

陸上養殖事業の今後の展開について伺う。

今年度、ウニおよびギンザケ稚魚の陸上養殖に関する調査および実証試験を行い、その結果や陸上養殖のマニュアルを、地元事業者等に周知する。引き続き、産学官グループ交流会と情報共有しつつ、本市での陸上養殖の実現に向けて取り組んでいく。



齋藤 澄子 議員

日本共産党 石巻市議団



子ども達の健康を守る立場について

子どもへのコロナワクチン接種を推進しようとしているが、副反応においては、心筋炎や心膜炎を発症する要因はわかっていない中、もし発症すれば子どもの小さな心臓に負担をかけることは、とても心配だ。安心安全に接種する方法をどのように考えているのか。

ホームページ等で情報提供を図り、子ども達、保護者への不安解消に努め、ワクチンの有効性、安全性や副反応に関する情報を分かりやすく積極的に周知していく。

SDGs17の目標から「ジェンダー平等を実現しよう」について

全国的に見ても中学校制服選択導入が進められている。本市では検討などはされているのか。

現在4校、制服の選択導入がされており、来年度から1校導入する。検討を行っている学校は3校、話題を取り上げている学校が5校あり、約7割の学校で制服の選択導入、または検討をしている。来年度から桜坂高校でも導入する。

湊地区の諸課題について

水と緑のプロムナードを利用する市民へ駐車場の整備を。湊北地区の未使用地の箇所数と活用は。

内海橋東側に整備している駐車場を利用できる。未使用地20区画、令和4年1月から一般公募を予定。

中央地区、湊地区、一体での河川堤防イベントを開催できないのか。

一体的に活用できる手法を市としても関係団体の協力を得ながら考えていく。



森山 行輝 議員

ニュー石巻



エネルギーに関する当市の対処方について

地域温暖化に鑑み、エネルギーの主力を電気で賄う方針が示されている。国は、2050年までに地球温暖化対策として、カーボンニュートラルを目指している。この事について当局の対応方、考え方を伺う。

本市としても、当然ながら目指さなければならぬ目標と認識している。本市としての温室効果ガス削減目標を定めており、今後も太陽光発電システム等の設置に対する補助事業や普及啓発事業等を推進しながら、カーボンニュートラルの実現を目指していく。

電気の需要が高まる中、火力発電の燃料である化石燃料の使用が見直され、再生可能エネルギーの導入が加速される背景である。

当市で設置している太陽光発電の現状について伺う。

再生可能エネルギー（バイオマス、太陽光、風力発電）について、本市への設置について伺う。

本市公共施設への太陽光発電設備の導入実績は、現在163施設、二酸化炭素の削減効果は年間約1千トンと試算。個人や事業者では4006件、二酸化炭素の削減効果は年間1万171トンと試算。一定の効果があつた。「再生可能エネルギーの本市への設置」について普及促進に取り組んでまいりたい。低平地への企業誘致は、国の動向等を見据えながら研究していく。



水澤 富士江 議員

日本共産党  
石巻市議団



環境保全と再生可能エネルギーについて

問 須江地区に建設予定の輸入燃料火力発電所について、F-T対象燃料も決まっていない。出資者は決まっているか。持続可能な事業か疑問である。埋蔵文化財発掘調査も延期になり、慎重に判断すべき。

答 工業専用地域に立地するものでなく、市の企業誘致助成対象にならない。出資者の情報はない。発掘調査は5500㎡の樹木伐採が必要。深さ50cm、幅2m、56本総延長2750mのトレンチを重機で掘削。調査期間は6カ月を見込む。

問 風力発電について、高さ130mの6基が既設。新たに稲井、女川町境に2事業者、高さ150m〜180mの28基の設置が予定されている。残土問題、土砂災害リスク、絶滅危惧種イヌワシの生息地である事など。再生可能エネルギーは、大規模なものでなく、小規模・分散・地産地消であるべき。

答 同一地域へ重複する事業計画の調整を求めている。

全世代に利用される図書館の実現を

問 図書購入費の県内自治体比は。

答 県内平均1555・1円に対し、本市は87・9円と下回る。市民が誇れ、愛される図書館は、教育のためにも待ち望まれている。しっかり取り組んでいく。

プラスチックごみの分別収集について

問 分別回収の開始時期は。

答 「資源循環法」が令和4年4月から施行される。開始準備を進めているが、開始時期は未定である。



千葉 正幸 議員

ニュー石巻



米価下落について

問 米価下落により10アール当り4千円の生産者支援は、農業地帯の登米市・大崎市と肩を並べた。今後も米の消費が減少し、水田の半分を減反する日も遠くないと思うが、市が行ったオリブ実証実験のように、農業法人や生産組織が自ら新しい作物への転換に取り組む実証実験に対し補助金を交付出来ないか。

答 新たな転作作物の展開に向けて、関係機関と研究していく。

带状疱疹予防ワクチン接種の助成について

問 带状疱疹は日本人の9割が保菌者で、50〜80歳までに3人に1人が発症し、いろいろな障害を及ぼす。予防のためのワクチンは4万円もの高額なので、助成できないか。

答 国で定期予防接種化を検討しており、他自治体の取り組みを注視しながら国に要望する。

市長の政治スタンスについて

問 市長は、衆議院選挙では自民党籍の政治スタンスと違った。現在所属している政党は。

答 石巻市長選挙を機に無所属となった。

問 石巻市が行う国・県への要望活動の手法は。

答 本県選出の国会議員に依頼し、各省庁との調整等を行っており、長年の政治経験で培った国・県とのパイプを活用し効果的な要望活動を行っていく。

問 周りには県会議員から首長になった方が多く、中央とのパイプを活かし特徴ある政治を行っている。第二県都石巻市の発展と公約に掲げた桃生産業団地の形成も含め、齋藤市長の政治手腕に期待する。



佐藤 雄一 議員

ニュー石巻



学校給食について

問 河南の給食センターでは、地震やトラブルの影響でこの1年に何度かおかずの提供が停止した。今後の対応策について伺う。

答 センター内に緊急用のレトルト食品を配備する。他の自治体と比べると石巻の給食費は安い。栄養は十分なのか。

問 文部科学省の基準において、13項目中、小学校で6項目、中学校で9項目の基準が未達成である。オーガニック給食について、伺う。

答 市内の給食で使用する米は、化学肥料と農薬の使用量を半分以下に抑えた石巻産「環境保全米」を令和2年11月から使っている。

自治体DXの推進について

問 本市では現在どのような状況か。

答 本年7月に公表された「自治体DX推進手順書」に基づき、実現化に向けて進めている。今後、「石巻市DX推進方針」を策定する。

「旭山桜のみち」について

問 9月議会で、旭山周辺を宮城オルレという話があったが、地元では反対の意見がある。不要であるし実現も難しいのでは。

答 多くの課題があることが判明している。

問 前谷地駅から旭山までは「旭山桜のみち」としてルートが設定してある。メンテナンスはされているか。

答 歩道の草刈りや標識等の点検などの管理を行っている。コースの周知など県と協議して進める。



楯石 光弘  
議員

ニュー石巻



人生100年時代の体力の向上と健康づくり対策について

問 新型コロナウイルスや精神的ストレスへの抵抗力も防衛体力。子供の体力が全国的長期的に低下。本市の現状と課題は。

答 小中とも全国平均を下回っている。肥満傾向が高いので、家庭と連携し通学や業間マラソンなどで改善努力したい。

問 健康と健康づくりの現状と課題は。

答 健康とは、肉体的精神的及び社会的に良好な状態。本市はがん・心疾患など極めて厳しく、長引くコロナの影響で悪化が懸念。

問 本市の健康ポイント事業は、市民の主体性が発揮されず見直しが必要では。

答 費用対効果等、総合的に検討したい。

複合施設「遊楽館」周辺の有効活用について

問 本市は海山等広大な面積、今ある施設を活用してキャンプ場の要望があるが。

答 コロナ禍で需要の高まりは認識、慎重かつ多面的に調査研究を行う。

魅力的で持続可能な「復興マラソン」について

問 参加人数が低迷、今後の対策は。

答 復興から次なるステージへ、要望の多い沿岸部へのコース変更を準備。

問 本市の大きな課題、健康と感謝を目的とし、大会名は、世界共通目標SDGsから、いしのまぎ復興健康マラソンへ。子供と女性の参加を大いに促し、参加賞・賞品も地場産品を、多様な団体様の協力を頂き、石巻の総力を挙げた大会を提案する。

取支予算案を立て実行委員会に諮り検討する。



丹野 清  
議員

ニュー石巻



生活困窮者自立支援制度について

問 市が行う生活困窮者自立支援法に基づく各種支援制度について伺う。

答 関係機関や支援団体と連携し、包括的な相談支援を行いながら問題解決にあたる「自立相談支援事業」と離職等により住宅を失うもしくは失うおそれのある方に対し、生活保護の住宅扶助基準額に相当する家賃額を原則3カ月間支給する「住居確保給付金事業」の2つの事業を平成27年度から実施している。

また、生活困窮世帯の子どもやその家族等に対し、学習支援や日常的な生活習慣、居場所づくり、高校進学者の中退防止、高校中退者等に対する社会的自立に向けた支援等を実施する「生活困窮世帯の子どもの学習・生活支援事業」を平成28年度から実施している。

渡波地区の諸課題について

問 渡波支所、渡波公民館の改築予定について伺う。

答 本建物は、昭和57年に庁舎と公民館の複合施設として建設し、築39年が経過している。随時、修繕等適切にメンテナンスを施しながらも、将来的な改築を視野に入れ、駐車場の確保や施設の構造・配置、建設場所も含めて前向きに検討している。

問 雨水対策における渡波地区の仮設ポンプについて伺う。

答 渡波地区においては、渡波町三丁目、赤堀などに仮設ポンプを16基設置しており、渡波排水ポンプ場が完成するまで、大雨に備えて対応している。



鈴木 良広  
議員

公明会



交流人口増加の取り組みについて

問 リニューアル後のサン・ファン館の誘客についてサン・ファン館のリニューアルオープンに合わせ、周辺でも観光を楽しめる工夫が必要と考える。目の前に海が広がっていることから「海上釣り堀」を開設することで、交流人口増加につながると思うが所見を伺う。

答 サン・ファン館については県の施設となるため、ご提案内容を情報提供し、連携して誘客に努める。

捕鯨文化と鯨食文化の継承について

問 本市において「全国鯨フォーラム2021石巻」が開催された。地域が誇る捕鯨文化をさらに広めべきと考えるが所見を伺う。

答 全国から264名の出席をいただき、全国にアピール出来た。関連行事として「石巻くじらフェア」や「くじら絵画コンクール」等のイベントを実施。「石巻くじら振興協議会」とも連携し、本市の捕鯨文化を継承していくための事業を行っていく。

特殊詐欺被害防止対策について

問 特殊詐欺電話撃退装置購入補助金の申請がすでに終了している。被害の多い今こそ補助金の申請が出来るよう県に働きかけてはどうか。

答 県に確認したところ、今年度の予算については既に終了していることから、来年度の予算の拡充を要望した。本市としては、市報やチラシ・ラジオ等により注意喚起を引き続き行う。



高橋 憲悦  
議員

ニュー石巻



**問** 移住・定住施策の推進について。

**答** 総合的な窓口設置のほか、お試し移住体験や移住に伴う住宅取得に対する支援などを実施。お話し移住体験の宿泊料など充実策を検討。

**問** 学校給食に故郷の味、地元食材を取り入れては。

**答** 学校給食に提供している食材は、米はすべて石巻産ひとめぼれ一等米をはじめ、食材は宮城産44・4%のうち石巻産が15・9%を使用。今後も積極的に地場産品を取り入れたい。その課題として、衛生基準、価格や数量の確保、安定的な納入が挙げられる。

**問** 震災遺構のあり方。門脇小、大川小の遺構のコンセプトと伝承を含めた今後の展開は。

**答** 門脇小は津波と火災の痕跡、大川小は慰霊・追悼の場で学校における事前防災と避難の重要性を伝える。特に、大川小については、今後も展示企画等について地元の要望を踏まえ、「来て良かった」と思われる施設にしたい。指定管理は行うものの、指定後についても、積極的に関与していく。

**問** 市民の視点・心を大切にした行政運営と本気度が伝わる行財政改革について。

**答** ご指摘のとおり市民の心に沿った行政運営に取り組み、山積する行政課題に職員一丸となって対応する。将来の危機的な財政問題を現時点から対応策を考える。博物館開館に寄贈いただいた方々に改めて感謝の意を表することについて検討する。



奥山 浩幸  
議員

ニュー石巻



**市政運営について**

**問** 広聴事業を強化し、継続して実施すれば市政に対する意見や要望、提言などは多数となり、財源措置のため未処理案件や継続案件が増加する懸念がある。公平迅速かつ適切に処理されなければ、市政に対する信頼を損なう恐れがある。また、地域からの要望に対し、回答が返ってこない事例があり、区長さん方から漏れ伝わってくる。返答期日を明確にするタイムマネジメントが必要であり、「要望等の処理規定」や「要望等記録対応マニュアル」を制定し、管理方法の改善が必要では。

**答** すぐ出来るもの、時間を要するものなどを分かりやすく説明する責任がある。2週間以内の返答とし、他市の事例を参考に進める。

**石巻市立病院について**

**問** 産科・小児科の開設について、これまで市民ニーズにこたえるべく努力する方向性を示しており、市民の期待感は大きくなっている。開院してからの5年で、周りの環境や情勢は大きく変化している。市の現状を踏まえ、市民を迷わせることなく今後の方向性をきちんと示すべき。市長の見解を伺う。

**答** 産科医が減少しており医師確保が困難な状況。出生者数の減少は避けて通れない現状であり、厳しい状況である。石巻赤十字病院で行っている産科セミナーシステム（分娩と健診の役割分担）で対応し、機能を充実していく。



阿部 久一  
議員

ニュー石巻



**雄勝地区のまちづくりについて**

**問** 12月1日朝9時頃から夜の9時頃まで雄勝半島部で携帯電話通信障害が発生した。一人暮らしのお年寄りの中にはそれを頼りに生活している方もいる。また、急病人の救助活動にも遅れを来す事から、携帯電話会社と行政が連携して、防災無線や地区の放送で住民に知らせる訓練などもすべきではないか。

**答** 通信障害時における事業者等との情報共有を初め、連絡体制の在り方や市民への周知方法等について研究していく。

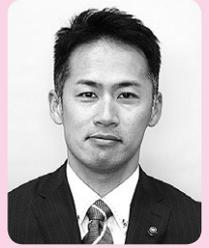
**問** 道の駅「硯上の里おがつ」は、イベントが開催されていない日は人通りが少ない。行政として対策はどのように考えているか。

**答** 道の駅連絡会等の組織を有効活用し、交流物産店の開催や新たな南三陸道の駅ルート化を図る等、また、地区内周遊コース化も検討していきたい。

**水産業の現状と課題について**

**問** 年々漁業就業者や水揚げ高の減少が続いている。いかにして水産振興を図るのか。

**答** 「水産業担い手事業」による国内の若者の確保や、「外国人技能実習生受け入れ事業」による乗組員不足の解消を図っている。また、磯焼け対策として「藻場造成事業」や「海ごみ対策事業」による漁場環境の整備、アワビやサケの種苗放流による資源量の確保の他、「陸上養殖実証事業」「未利用魚の活用検討」等の事業により新たな資源の可能性についても模索している。



山口 莊一郎  
議員

創生会



DXの推進

**問** 「行政手続きオンライン化」「システム標準化」は国の指定する期限に間に合うのか。

**答** 仕様書がまだ全て揃っていないが、来た順番に各担当部署と調整し始めている。かなり厳しい日程ではあるが、推進本部体制のもと、それぞれの部署の担当にICT推進課が技術的なサポートを行い、役割を分担しながら期限に間に合わせていく。

**問** DX推進方針（デジタル化への代替に合わせた市民サービス目線での業務見直し）では、一部の職場で「業務を改善し、効率化しようとする意識に欠ける発言も見受けられた。」と記載がある。こういった職員の意識が、市民ニーズの壁や行政コストの敵にならないか。

**答** 市民に寄り添っていないのではなく、さらに寄り添うという認識である。職員の研修も含めて推進体制を構築し、副市長がCIO（最高責任者）として市民サービス向上に努めていく。

**問** 国は、CIO補佐官の必要性と外部人材の積極的活用を検討するとしている。石巻の検討状況はいかがか。

**答** 職員の業務改善に対する意識や庁内連携に対する認識を十分に深めたうえでなければ、外部人材の活用はまだ先の段階である。現時点では市役所内にICTに精通した優秀な人材がおり、外部の視点としては、デジタル宮城推進アドバイザーや地域情報化推進参与の活用を考えていく。



千葉 眞良  
議員

創生会



(仮称) 稲井こども園について

**問** これまでの経過について伺う。

**答** 本事業の概要を本年6月に稲井地区区長定例会で、9月に井内保育所保護者会役員及び公立保育施設の所長に対して、10月には、石巻市職員労働組合や幼稚園及び保育施設の職員への説明を経て、井内保育所、稲井幼稚園の保護者を対象とした説明会を行っている。

**問** 子ども保育課で実施したアンケート結果について伺う。

**答** 井内保育所に入所している0歳から2歳児までの21世帯を対象にアンケートを実施し、17世帯から回答があった。保護者の現時点の考えは「環境が変わることでの子どもへの影響」をはじめ「職場から離れるため」や「保育の質・内容に不安がある」という理由から、終了するまで井内保育所を利用したいという意見が15世帯から寄せられている。

**問** 今後の課題について伺う。

**答** 「子どもへの影響」「保護者の不安」を解消するため今後も丁寧な説明を行っていく。

**問** 12月1日に発生した大門町三丁目の交通事故について 湊東地区区画整理実施に伴う、交通規制について伺う。

**答** 地区内の交差点の形状及び路面表示等の交通規制は、交通管理者である公安委員会や警察と協議を重ね、その意見に基づき整備を行っていく。しかし今回の事故発生箇所のように、事故発生が懸念される箇所は、公安委員会への要望を継続して行っていく必要がある。



後藤 兼位  
議員

創生会



新型コロナウイルスワクチン接種の課題

**問** 3回目ワクチン接種の前倒しの課題は。

**答** 当初8カ月を基準に計画を組んでいる。諸々の準備に影響が出るので各関係機関との調整が必要。3回目の接種では、ファイザー社とモデルナ社のワクチンを併用する。5歳以上11歳以下の子供への接種も検討する。

**問** 多くの市民はファイザー社製を接種しているが希望通り選択が可能か。

**答** 国の3回目接種配分計画は、ファイザー約6割、モデルナ約4割の供給割合となる。全員が希望通りになるとは限らない。

**問** 市民が希望通り接種できるように努力せよ。

**問** 安心して子育てができる環境整備について

**問** 子育て世代のニーズに合った施策を図れ。

**答** 新生児の訪問事業、子育て世代包括支援センターの相談事業、保育施設等を充実させることが少子化対策につながると考えており、本年9月より開始した育児ヘルパー事業が好評を得ている。

**問** 特別保育事業である一時保育、延長保育、夜間保育、休日保育、病後児保育、障害児保育の充実を図れ。

**答** 公立保育施設の再編状況を踏まえ、民間事業者の公募の際の要件に含める等保育需要に即した施策の実施を検討する。

**問** 居場所づくりの充実を図れ。

**答** 子どもセンター「らいつ」のほか、放課後児童クラブ、放課後子供教室、移動型プレーパーク、子供食堂等を含めた多様な形態での居場所づくりを推進する。



渡辺 拓朗 議員

公明会



デジタル化（トランスフォーメーション）社会について

問 デジタル化への企業格差は、将来の本市の歳入減につながる。専修大学との連携を含めた企業格差の是正について伺う。

答 産業創造助成金や県が実施するIT業務改善訓練の周知を図る。企業側がDX推進に求めるものを、専修大の知見と併せて特化した形で、産学官グループ交流会で協議していく。

問 本市のマイナンバーカード取得率は、全国の平均より10%低い。マイナンバーカード取得率向上に向けたポイント付与事業推進時に、高齢者の取得率向上の為に、一層の分かりやすい丁寧な説明が必須と考える。窓口強化を含めどのように推進していくのか。

答 手続きについて、市民から誤解を招かない周知を図り、カード普及を目指した啓発活動と高齢者の為に、窓口の更なる整備と組織横断型の体制で挑む。

問 Aいやデジタルは、あくまで中立的な手段であり、善でも悪でもない。しかし、その技術をつましく使いこなすだけの倫理を、私たちはまだ手にしていないと考える。このような時代の中で子供たちの健全育成にむけ、科学技術と教育の調和を図る倫理条例を制定する時期に来ているのでは。

答 デジタル社会の進展で、子供を囲む環境は憂慮される状況にある。条例に関しては、権利に関わることもあり、関係機関と十分な時間をかけ慎重な議論をしながら取り組んでいく。



黒須 光男 議員

無会派



半島復興事業の問題点について

問 日大の不祥事に絡む金の流れは田中理事長の所得税法違反で工事の設計監理業務発注で設計金額が増額されその金が還流されているとマスコミが報じています。当市も東日本大震災復興事業で国の助成金が1兆2千億円にも達し何もかも狂い始めたのです。第32号議案で17億8200万円は4力所の工事で増額すると説明しているが現地調査で1力所は完了しており、3力所は8割以上施工済であった。3月16日の本会議で半島復興事業部長は事前着工を認めている。

答 28地区の増減と残土置場の整備で4地区はその一部でそれを確認したと理解する。

問 設計は88億円で驚くべき高額である。設計業者に遡東地区復興市営住宅の地質調査をした業者も入っており市長が就職紹介した者が勤務している人事について伺う。

答 派遣職員で参与の職員は県・UR・市との協定に基づき来ている。

問 委託工事の検査書を精査した。検査は工事検査規程に基づかない職員が行っている。工事検査規程に抵触する。

答 一体的業務の委託であり担当課長が工事検査を経て包括した形で支払いのための確認を行った復命書である。

問 工事検査室長は一体的工事の検査は半島復興事業部が工事検査すると決めたと話しているが協議書がない。このため12月14日仙台地検に告発した。

答 CM業務なので担当課長が決裁している。



青山 久栄 議員

創生会



問 本市の児童生徒の学力、体力とも全国平均を下回って久しい。対応を伺う。

答 学力向上のためのPDCAサイクルに基づいた授業改善を図っていく。また、休み時間を利用したトレーニングも実施していく。

問 来年度から給食費の値上げを検討しているが、コロナ禍で地域経済が疲弊しているなか、あまりにもタイミングが悪い。実施時期を延ばせないか。

答 子どもたちの栄養摂取を優先したい。

問 気象温暖化のなか、沿岸漁業、養殖業が苦戦を強いられている。磯焼け対策や、稚魚、稚貝の放流事業をどう考えているか。

答 宮城県が策定した「藻場ビジョン」において、海藻が定着しやすい形状のブロックを計画的に設置していく。鮭の不漁で種卵の確保も厳しい状況であるが何とかしたい。アワビについても継続的に放流事業を行う。

問 港湾を利用した畜養、養殖ができないか。

答 国の政策においても、静水域での増養殖、漁港レストランや直売施設など有効活用を推進している。本市としても事業者からの希望があれば前向きに取り組みたい。

問 陸上養殖に対する機運が高まっている。産学官の試験、研究の継続とともに、ノウハウを持つ企業の誘致ができないか。

答 陸上養殖は水産加工業者の安定した原魚の確保や産業振興にも繋がるので、低平地を利用した企業誘致を促進したい。



星 雅俊 議員

創生会



人口減少・少子高齢化の各種課題

1 市行財政運営の対策について

問 今年9月末時点の人口減少数は、対前年比較で2068人と急増。詳細調査と対策が急務と思うが伺う。

答 調査項目、調査方法、実施時期を検討する。

問 人口減少の市財政への影響額推計や人口規模に見合った公共施設数の削減先行実施が必要ではないか。

答 1人減で国からの交付税額は、10万円減。影響額の把握は、必用不可欠。公共施設数の削減は、慎重に対応する。

2 まちづくり対策について

問 自治組織の強化と高齢者等の移動手段の確保策について伺う。

答 自治組織は、市長から庁内会議の場で職員へ協力要請中。移動手段は、総合交通戦略改定の中で検討中。また、雄勝で実証実験中。

3 小中学校児童生徒の学力低迷対策について

問 「明確な数値目標を掲げた学習向上プラン」の検討状況を伺う。

答 プランは、3年計画。当面、宮城県平均以上を目標。策定体制は、教育者関係者と保護者等を含め検討する。

問 当市の学力順位は、全国でも40位以下の宮城県平均以下。「家庭、学校、地域」の対応の弱さが課題。「家庭教育の充実」や「困難を抱えた子供達への支援」について伺う。

答 教育は、家庭が土台。幼・保・小の連携や学校と保護者、地域の連携を深め、学校で、解決困難な場合は、スクールソーシャルワーカーや福祉等関係機関と密接な連携を図る。



櫻田 誠子 議員

公明会



公共交通について

問 今年3月から運用のグリーンスローモビリティの現状について。

答 現在1台で運用し、利用者は107人。今後利用促進に努め追加する。提案の南浜祈念公園での運用は、現在車両乗り入れ禁止だが、時速20kmの低速である事から、国県管理側と協議していく。

問 タクシー値上げで、乗り合いタクシー運賃の値上げ提案があった。

答 補助金額の増加が課題だが、可能な限り費用を抑えた中で、住民が利用し易い様努める。

問 釜大街道線沿線の住民から停留所の要望がある。

答 国庫補助となる広域路線。今後事業者や関係機関と停留所等可能性について協議する。

問 公共交通の少ない地域では、高校になると父兄が負担し運行するバスでの通学だが、負担大きく通学支援の要望がある。

答 地区を限定した支援策は公平性を欠くが、特に公共交通が少ない北上地区は長年の課題であり、既存の住民バスの時間帯調整等工夫し、通学手段として活用可能となり、令和4年4月の利用を目指す。

問 県内ほとんどの自治体で高齢者運転免許返納優遇策を実施している。

答 免許返納後の移動手段の確保、バスの運賃等他市を参考にしっかり検討する。

網膜色素変性症の方等への支援について

問 令和元年暗所視支援眼鏡を日常生活用具とすべしと提案。

答 国の難病の一つ、進行性の病気で日常生活の制限あり。本市としても先進事例を参考に日常生活用具の種目に追加する。



阿部 正敏 議員

創生会



問 女川原発避難計画立案に向けた取り組みについて、県道石巻鮎川線整備計画の具体的な整備計画を示すべきではないか。

答 国側に先月16日宮城県知事、女川町長と共に早期整備に向けた予算の確保や財政措置について改めて要望し、先月25日には宮城県知事に対し県道石巻鮎川線桃浦から小積浜間の計画検討を含めた道路整備を要望したところである。また、今月11日には山内閣府特命担当大臣に県道石巻鮎川線他を現地調査し、地元住民の思いを伝え必要性を強く認識してもらった。

問 やつと全容が見え始めてきた。これまでにない踏み込んだ答弁を頂いた大きな前進である。

答 更に風越3期桃浦浜までの具体的な設計をお示しし、桃浦浜から小積浜までの具体的な設計を順次、示していく。

問 大原小学校から県道石巻鮎川線取付避難道整備の経緯経過について説明が全くない中で、整備計画の取り下げの報告がなされた。地域要望として、元浜と防集団地を繋ぐ重要な避難道を勝手に中止したことについて、強い怒りを禁じえない。

答 総合支所を通じ説明すべきであり、申し訳ありません。深く反省している。

問 市長の取り計らいで事業再開の見通しが立つたが、当局として、地域住民、地権者へ、まずは謝罪して改めて協力をお願いし二連の経過説明をすべきである。

答 謝罪を含め、この度の件について早急に対応する。



西條 正昭 議員

創生会



過疎対策について

問 新過疎法は、持続的发展支援法として、「河北・北上・雄勝・牡鹿」が「非過疎地域」となることを目指し、特別措置を活用して、地域活性化等の取り組みを積極的に推進していくよう求められている。過疎脱却となる具体的な事業内容について伺う。

答 地域性のある産業や文化、豊かな自然環境・美味しい食材等、魅力的な素材の力を発揮させ、移住促進事業や担い手育成総合支援事業等、人口減少対策に取り組んでいく。

石巻市立小中学校の学力向上対策について

問 石巻市立小中学生の「全国学力・学習状況調査」の内容と現状について伺う。

答 前回と比較すると、全国平均との乖離は小さくなっており、あと1問正解で全国値に並ぶ。今後も教員指導力向上研修を実施していく。

問 2学期制導入について伺う。

答 本市の児童生徒にとって、どちらが適切なのかを判断していく。

北上地区の諸課題について

問 国・県道の街路灯整備について伺う。

答 国からは本年8月に交差点部分の街路灯設置の事務手続きを行ったと伺っている。

問 国道398号、立神く長塩谷間のS字カーブと歩道整備について伺う。

答 県に、早期事業化に向けて、働きかけていく。

問 大沢橋の架け替えについて伺う。

答 県からは、測量業務を本年11月に発注したと伺っている。

問 北上川濁流対策協議会の現状について伺う。

答 河川事務所を交えた会議の場を設け協議する。



青木まりえ 議員

創生会



問 毛利コレクションの総点数調査の進捗状況について伺う。

答 調査済み9万3745点。未調査約1万点。合計10万点余りと試算。

問 調査名目の寄附金1千万円の使途状況について伺う。

答 6名(学芸員4名)体制で、年間約2千点を令和8年度まで調査予定。

問 香書と診断された児童への対応について伺う。

答 教室に柔軟剤等の香りが充満。頭痛等に悩む児童から相談を受け、昨年12月と本年8月に市内各園、各小中学校、桜坂高校に啓発文書を配布。今後、園長校長会議や各園各校PTAでの周知啓発に努める。

問 サン・ファン・パウティスタ号は1613年に造られたのも1993年に復元されたのも石巻。日本最大の木造船で日本唯一のカレオン船。日本の木造船技術の極み。石巻の誇りでは。

答 約400年前の慶長遣欧使節団の太平洋横断の立役者と認識。教育施設としての成果を伺う。

問 令和元年度来場者数3万1188人(小人6990人)来場校数10校(小3高5他2)。

問 学校の招致にもっと努めるべきでは。

答 市では、そう申し入れてきたが、県の施設。

問 観光施設としてなら、人気アニメ「ワンピース」とのコラボはいかがか。

答 集英社とのコラボは敷居が高い。

問 FRP船は焼却時有毒ガス発生。市のSDGsに不適では。

答 廃棄は法に則り、環境に配慮する。

問 実物大の木造船は教育効果大では。

答 そう思う。

問 市が木造船の払い下げを願えないか。

答 既に解体中で無理。



第4回定例会の様子

# 議案第4号 6番黒須光男議員に対する 議員辞職勧告決議の提出について

## 起立採決

議席 番号	氏名	議案第 4号
1	阿部 浩章	○
2	佐藤 雄一	○
3	高橋 憲悦	○
5	大森 秀一	-
6	黒須 光男	退席
7	楯石 光弘	○
8	奥山 浩幸	○
9	遠藤 宏昭	○
10	木村 忠良	○
11	千葉 正幸	○
12	櫻田 誠子	○
13	鈴木 良広	○
14	青木 まりえ	○
15	星 雅俊	○
16	青山 久栄	○
17	阿部 正敏	○
18	齋藤 澄子	○
19	阿部 久一	○
20	丹野 清	○
21	安倍 太郎	○
22	阿部 欽一郎	○
23	森山 行輝	○
24	渡辺 拓朗	○
25	千葉 眞良	○
26	山口 莊一郎	○
27	高橋 栄一	○
28	西條 正昭	○
29	後藤 兼位	○
30	水澤 富士江	○
賛成		27
反対		0

※ ○：賛成 ×：反対

※ 大森秀一議長は採決に加わりません。

※ 当事者の黒須光男議員は退席となり、採決に加わりません。

## 6番黒須光男議員に対する議員辞職勧告決議

第4回定例会において可決された決議の内容は、次のとおりです。

提出者：佐藤雄一 議員

賛成者：27議員(大森秀一議長、黒須光男議員を除く)

黒須光男議員に対しては、過去4回昨年の12月議会、今年の2月、3月議会、6月議会、9月議会と度重なる本会議中での不穏当及び不規則発言を議長から注意をし、発言の取消しを願ったが、反省の色は全く見られず、取消しに応じない態度であったことから、議長の議事整理権のもと発言の取消しを定例会の会期ごとに行ってきた。

再三の注意、特に前議会での問責決議により、反省を期待しておりましたが、反省どころか、ますます暴走した言動が繰り返されている。

昨日の本会議も黒須光男議員の一般質問中、URから派遣として職務に励んでいる職員を名指しし、あたかも疑惑があるかのような発言をしている箇所や一般質問通告外の質問をしている箇所の発言を議長において、発言の取消しを命じたが全く応じないばかりか、開き直る始末であった。

黒須光男議員は、今定例会12月議会で丸1年、5回目の不穏当及び不規則発言の連続の取消しである。

石巻市議会の最高権限者であり、議事を整理して円滑な議事運営を行う議長の注意を聞かず、議会のルールを守らない黒須光男議員をこのまま石巻市議会議員として活動することは許されない。

さらには、黒須光男議員が庁舎内外で議会事務局職員はじめ、市職員に対する高圧的な言動で当該職員に心身の苦痛を与えている。

そればかりでなく、常識を超えた執拗な一方的判断による言動に行政側の事務対応は膨大なものとなっている。

市議会は、議長を選び、議長を中心とした合議体であり、議長には総括、統括する権限が付与されている。

その議長の注意、勧告に従わない者は、議員たる責務を果たせるであろうか。ましてや、黒須光男議員への懲罰は黒須光男議員を除く全議員の総意である。

併せて、黒須光男議員が庁舎内外で議会事務局職員はじめ、市職員に対する高圧的な言動で当該職員の心身の疲労や事務的なロスは看過できず、黒須光男議員以外の全議員27名の総意として強く猛省を促すものである。

よって、6番黒須光男議員に対し、速やかに議員を辞職するよう勧告するものである。

以上、決議する。

第109号議案 石巻市立病院倫理委員会条例の一部を改正する条例

起立採決		
議席番号	氏名	第109号議案
1	阿部 浩章	○
2	佐藤 雄一	○
3	高橋 憲悦	○
5	大森 秀一	-
6	黒須 光男	○
7	楯石 光弘	○
8	奥山 浩幸	○
9	遠藤 宏昭	○
10	木村 忠良	○
11	千葉 正幸	○
12	櫻田 誠子	○
13	鈴木 良広	○
14	青木 まりえ	○
15	星 雅俊	○
16	青山 久栄	○
17	阿部 正敏	○
18	齋藤 澄子	○
19	阿部 久一	○
20	丹野 清	○
21	安倍 太郎	○
22	阿部 欽一郎	○
23	森山 行輝	○
24	渡辺 拓朗	○
25	千葉 眞良	○
26	山口 莊一郎	○
27	高橋 栄一	○
28	西條 正昭	○
29	後藤 兼位	○
30	水澤 富士江	○
賛成		28
反対		0

※ ○：賛成 ×：反対  
 ※ 大森秀一議長は採決に加わりません。

## 第4回定例会に提出された陳情

- 令和4年度税制改正に関する提言について  
 (提出者) 一般社団法人 宮城県法人会連合会 会長 菅原 裕典  
 公益社団法人 石巻法人会 会長 松本 賢
  - 京ヶ森から雄勝峠間の尾根上に建設計画中の風力発電事業等に関する陳情書  
 (提出者) 南三陸の山並みを考える会 会員 佐藤 栄晃 外1名  
 南三陸ワシタカ研究会 会長 三浦 孝夫
  - 「安全・安心の医療・介護・福祉を実現し国民のいのちと健康を守るための意見書」採択を求める陳情書の提出について  
 (提出者) 宮城県医療労働組合連合会 執行委員長 中山 修
  - ウイグルの人権問題に対し国に調査を求める意見書採択のお願い  
 (提出者) 特定非営利活動法人日本ウイグル協会 会長 于田 ケリム
- ※これらの陳情は、全議員へ参考回付しました。

**第2回臨時会で可決した  
議案と審議結果**  
 (令和3年11月24日開催)

人事院勧告に基づく職員給与の改定及び職員の異動に伴う人件費の整理に要する経費と新型コロナウイルス感染症の影響に伴う経済的支援として、18歳以下の子を養育している子育て世帯を対象とした「子育て世帯臨時特別給付金」の給付に要する経費を措置した補正予算などが審議されました。

### 予算 (原案可決)

- ・ 令和3年度石巻市一般会計補正予算 (第6号)
- ・ 令和3年度石巻市一般会計補正予算 (第7号)
- ・ 令和3年度石巻市水産物地方卸売市場事業特別会計補正予算 (第1号)
- ・ 令和3年度石巻市市街地開発事業特別会計補正予算 (第3号)
- ・ 令和3年度石巻市介護保険事業特別会計補正予算 (第2号)

### 条例 (原案可決)

- ・ 令和3年度石巻市病院事業会計補正予算 (第1号)
- ・ 令和3年度石巻市下水道事業会計補正予算 (第2号)
- ・ 石巻市立病院倫理委員会条例の一部を改正する条例
- ・ 石巻市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

### 議案 (原案可決)

・ 石巻市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例



## 議会を傍聴してみませんか？

本会議と委員会は、原則として市民の皆さんに広く公開しており、個人でも団体でも自由に傍聴することができます。

特に本会議は、市民の皆さんが選んだ議員全員によって構成され、皆さんの生活に直結した議案などを審議し、議会の最終的意思を決める会議であり、議員の発言や市長の考え方などを直接見聞きすることができますので、ぜひ傍聴にお越しください。

本会議の一般席は44席、車いす使用者席の特別席は4席、委員会の一般席は10席で、先着順となりますが、新型コロナウイルス感染症対策のため、感染予防を徹底し、受付での非接触型温度計による体温測定、手指のアルコール消毒、マスク着用の要請を行っており、各傍聴席数を半分に制限しています。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大などの状況によっては、傍聴の自粛をお願いする場合がありますので、ご理解、ご協力をお願いします。

※団体での傍聴を希望する場合は、事前に議会事務局へご連絡ください。

## 傍聴のしかた

受付場所	本会議・委員会開催日の市役所6階にある議会事務局まで、お越しください。 ※開会時間は原則として、開会日は午後1時、2日目以降は午前10時です。
受付方法	受付で議会傍聴受付表に「住所」・「氏名」を記入していただき、議会傍聴証を受け取ってから、傍聴席に入場してください。

## 傍聴するときのご注意

### 傍聴席では、次の事項を守ってください。

- (1) 議場における言論に対して拍手その他の方法により公然と可否を表明しないこと。
- (2) 談論し、放歌し、高笑い、その他騒ぎ立てないこと。
- (3) はち巻、腕章の類をする等示威的行為をしないこと。
- (4) 帽子、コート、マフラーの類を着用しないこと。  
(病気その他の理由により、議長の許可を得た時は着用できます。)
- (5) 携帯電話機等の電源を切ること。
- (6) 飲食または喫煙をしないこと。
- (7) みだりに席を離れ、または不体裁な行為をしないこと。
- (8) 上記に掲げるもののほか、議場の秩序を乱し、または議事の妨害となるような行為をしないこと。



### 写真、映画等の撮影及び録音等の禁止

傍聴席では、写真、映画・ビデオ等を撮影し、または録音、パソコン操作、その他に類する行為をしてはいけません。



傍聴席



本会議は、当日の受付だけで傍聴できます。  
ぜひ一度本会議場ならではの雰囲気の体験をしてみませんか。

議場内モニター



議員の質問時間には制限があり、傍聴席から見えるモニターには、発言残時間が表示され、議員は持ち時間を配分し、一般質問を行っています。

## 令和3年度 中央要望

11月25日、26日に下記のとおり中央要望を行いました。

### ◆要望先

内閣府、復興庁、総務省、外務省、財務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省

### ◆出席者

大森秀一 議長、遠藤宏昭 副議長、奥山浩幸 総務企画委員長、千葉正幸 総務企画副委員長、阿部久一 環境教育委員長、楯石光弘 環境教育副委員長、佐藤雄一 保健福祉委員長、鈴木良広 保健福祉副委員長、阿部浩章 産業建設委員長、櫻田誠子 産業建設副委員長

### ◆要望項目

- 1 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の弾力的な運用について
- 2 テレビ共同受信施設に係る維持管理費等補助制度の創設について
- 3 地域コミュニティの再生に係る継続的な財政支援について
- 4 地域公共交通への支援の拡充について
- 5 復興特区法の課税の特例及び地方税の免除等に伴う減収補填率の維持について
- 6 心のケア事業、被災者健康支援事業に係る財政支援について
- 7 乳幼児医療費助成制度の充実強化について
- 8 介護従事者の働く環境整備について
- 9 民生委員の処遇改善及び財政的支援について
- 10 災害援護資金貸付制度の見直しについて
- 11 東日本大震災復興基金（津波被災住宅再建支援分）の利用期限の延長について
- 12 被災中小企業施設・設備支援事業資金貸付制度等の返済猶予に対する柔軟な対応について
- 13 東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う水産物の風評被害対策について
- 14 米の需給対策及び令和3年産米価下落に伴う支援について
- 15 国土強靱化と地方創生を推進する道路整備予算の確保、石巻新庄道路の早期実現及び国道108号石巻河南道路の整備推進について
- 16 避難機能を有する道路整備の財源確保について
- 17 GIGAスクール構想に基づき整備する機器の更新経費及び維持管理費に係る財政支援策等について



経済産業省への要望



富樫博之 復興副大臣への要望



藤原崇 財務大臣政務官への要望



総務省への要望

## 議会の動き

- 10月  
4日 議会改革推進会議研修会  
20日 埼玉県鴻巣市議会行政視察来石
- 11月  
2日 石巻市陸上競技場の整備を推進する議員連盟役員会  
8日 大阪府堺市議会行政視察来石  
9日 東日本大震災地域コミュニティ活性化特別委員会意見交換会  
11日 和歌山県議会行政視察来石  
12日 ニュー石巻現地視察  
17日 桜坂高等学校「市役所プロジェクト」  
19日 議会運営委員会  
24日 第2回臨時会(開会、議案審議等)  
議会運営委員会  
第1回災害対策会議  
東日本大震災地域コミュニティ活性化特別委員会  
29日 議会運営委員会
- 12月  
2日 本会議(開会、提案理由説明等)  
全員協議会  
総合防災対策特別委員会  
人口減少対策特別委員会  
議会改革推進会議  
3日 本会議(条例案、予算案等審議)  
7日 総務企画委員会、環境教育委員会  
8日 保健福祉委員会、産業建設委員会  
9日 議会運営委員会  
13日 本会議(一般質問)  
14日 本会議(一般質問)  
15日 本会議(一般質問)  
16日 本会議(一般質問)  
17日 本会議(一般質問、委員長報告、追加議案審議、閉会)



## 東日本大震災地域コミュニティ活性化特別委員会意見交換会

11月9日、特別委員会は、あゆみ野地区町内会と渡波地区行政区・湊東町内会と「町内会運営における課題について」など、意見交換会を実施しました。

東日本大震災の被災者を中心に新市街地が形成された2地区では、自治会への加入促進や役員のなり手不足、コミュニティ活動資金の不足などの多様な課題があり、解決するには市のサポートが必要との意見などがありました。

特別委員会は今回寄せられた意見を当局へ伝え、今後も地域コミュニティ活性化の推進に取り組んでいきます。



## 全国市議会議長会による東日本大震災被災地視察

1月14日、全国市議会議長会が東日本大震災被災地視察に石巻南浜津波復興祈念公園を訪れ、慰霊碑に献花し、追悼しました。

全国市議会議長会は、本市を含む815団体の全国各市議会議長により構成される組織で、各市議会共通の諸課題解決に向けて取り組んでいる団体です。

みやぎ東日本大震災津波伝承館内では、大森秀一議長、遠藤宏昭副議長と残された復興事業の推進の取り組みなどについて、意見交換をしました。



## 本会議・常任委員会を動画で配信しています。



視聴される際は、市議会ホームページの『石巻市議会LIVE中継(生中継)』をご覧ください。

(YouTubeを視聴する環境が必要となります。)

また、本紙面から、各議員の顔写真の下にあるQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、一般質問を動画(録画映像)で見ることができます。

(視聴にかかるデータ通信料金などの費用は、ご本人の負担となります。)

### 次回(令和4年2・3月)定例会議(予定)

日	月	火	水	木	金	土
2/6	7	8	9 開会 施政方針演説 13:00	10	11 建国記念の日	12
13	14	15	16	17	18 本会議 施政方針質疑 10:00	19
20	21 本会議 施政方針質疑 10:00	22 本会議 条例案等審議 10:00	23 天皇誕生日	24 本会議 当初予算案審議 10:00	25 本会議 追加議案審議 10:00	26
27	28	3/1 総務企画 10:00	3/2 環境教育 10:00	3/3 保健福祉 10:00	3/4 産業建設 10:00	3/5
3/6	3/7	3/8	3/9 本会議 一般質問 10:00	3/10 本会議 一般質問 10:00	3/11 東日本大震災 追悼式	3/12
3/13	3/14 本会議 一般質問 10:00	3/15 本会議 一般質問 10:00	3/16 本会議 一般質問 10:00 閉会	3/17	3/18	3/19

カレンダーの時間は、開会時間となっております。※時間・日程は変更となる場合があります。

### 議会の内容を知る

本会議の様子はインターネット(YouTube)で、生中継やこれまでの録画配信をご覧になれます。



YouTube 石巻市議会チャンネル

公式な記録としては、市ホームページや図書館、議会図書室で会議録をご覧になれます。



会議録の検索・閲覧

- 第4回定例会ライブ中継の視聴回数 2,858回 (令和3年12月2日～12月17日)
- YouTube録画中継の視聴回数 3,821回 (令和3年10月～12月末)



### 編集後記

本年の元旦は雪景色で始まり「富正月」となりました。謹んで新年のお祝いを申し上げます。

令和3年第4回定例会では、原油価格高騰に対応した生活困窮世帯や園芸農家・漁業者らの支援策、新型コロナウイルス対策費など、約40億円の補正額となりました。米価下落に伴う生産者支援策も含まれており、市民にとって喫緊の課題にスピード感をもって対応させて頂きました。

また、今定例会では平成17年に新市誕生以来初となる、「議員辞職勧告」が全議員の連名で提出され、決議されるという議会として不名誉なことが発生しました。誠に遺憾であります。市民に選ばれた議員であるからこそ、高い倫理観をもって自らの発言や行動を自制しなければならない。それが議会としての品位であり、それを逸脱する行為は許されることではない。

市議会では、今後も市民の負託に応えるべく襟を正し、開かれた議会を推進し、ポスト復興、アフターコロナに向けたまちづくりに取り組んでまいります。

広報広聴委員会 委員 奥山 浩幸

DATA 市総人口：138,686人【男：67,399人 / 女：71,287人 / 世帯数：61,933世帯(令和3年12月末日現在)】